HONDA

News Release

2026 年 11 月 3 日

Honda の英国現地法人であるホンダモーターヨーロッパ・リミテッド（本社：バークシャー州ブラックネル 社長：Hans De Jaeger）は、現地時間 2026 年 11 月 2 日（月）16：30 に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

EICMA（ミラノショー）2026 出展概要

Honda は、イタリア・ミラノで開催される EICMA 2026（ミラノショー、プレスデー：11 月 3 日～4 日、一般公開：11 月 5 日～8 日）に出展するコンセプトモデルや市販予定車、ヨーロッパ向け 2027 年モデルの二輪車ラインアップを発表しました。

EICMA 2026 の Honda ブースでは、「CRF1150L Africa Twin（シーアールエフ 1150 エル アフリカツイン）」シリーズと「CBR1000RR-R FIREBLADE（シービーアール 1000 アール アールアール ファイアブレード）」シリーズを世界初公開します。「CRF1150L Africa Twin Adventure Sports」には、新開発となる先進安全運転支援システム「Honda SENSING RIDE」を Honda 二輪車として初搭載します。

また、世界初公開となる Honda 初の電動アシストマウンテンバイク「Honda RN0（ホンダ アールエヌゼロ）」や、二輪車として世界初となる電子制御過給機を搭載した「V3R 900 E-Compressor（ブイスリーアール 900 イー コンプレッサー）」の市販予定車など、多彩なモデルをそろえています。

【主な出展モデルの特長】

■CRF1150L Africa Twin シリーズ

「Africa Twin」シリーズのフルモデルチェンジとなる「CRF1150L Africa Twin」シリーズは、従来の「Africa Twin」、「Africa Twin Adventure Sports」に加え、よりオフロード性能を追求した「Africa Twin Enduro Sports」を追加して計 3 タイプのバリエーション設定としています。エンジンの排気量拡大による動力性能の向上に加え、各部の徹底した軽量化や、燃料タンクを分割して一部をシート下に配置することで低重心レイアウトを実現するなど、扱いやすさとトータルバランスを向上させました。また、CRF1150L Africa Twin Adventure Sports には新開発の先進安全運転支援システム「Honda SENSING RIDE」を Honda の二輪車として初めて搭載しました。さらに、ICE（内燃機関）搭載車のアドベンチャーモデルにおけるフラッグシップモデルとして、新たなエンブレム「Honda Flagship WING」が採用されています。



2027 CRF1150L Africa Twin シリーズ

■CBR1000RR-R FIREBLADE シリーズ

フルモデルチェンジで世界初公開となる「CBR1000RR-R FIREBLADE」シリーズは、従来の「CBR1000RR-R FIREBLADE」、「CBR1000RR-R FIREBLADE SP」に加え、新たに「CBR1000RR-R FIREBLADE HRC WORKS EDITION」を設定して計 3 タイプとしています。新設計のアルミツインチューブフレームとスイングアームなどをはじめ、車両全体の約 75%におよぶ部品を新規設計とすることで、サーキットでの競争力をさらに高めました。また、パワーユニットには Honda の量産二輪車として初めて 2 段可変エアファンネルを採用しました。ICE（内燃機関）搭載車のスーパースポーツのフラッグシップモデルとして、新たなエンブレム「Honda Flagship WING」が採用されています。



2027 CBR1000RR-R Fireblade シリーズ

■V3R 900 E-Compressor 市販予定車

二輪車として世界初※1 となる電子制御過給機を搭載した独自の V 型 3 気筒エンジンを採用した「V3R 900 E-Compressor Planned Production Model」を市販予定車として出展します。左右非対称の独創的なデザインが特徴で、チタン製の燃料タンク、エキゾーストパイプ、マフラーを採用しています。また、進化した Honda RoadSync※2 を搭載。より直感的な操作を可能にする HMI（Human Machine Interface）の進化に加え AI を活用した音声操作機能など、新たな機能を備えています。



V3R 900 E-Compressor 市販予定車

■Honda RN0

Honda 初の電動アシストマウンテンバイクとして世界初公開した「Honda RN0（ホンダ アールエヌゼロ）」は、ハイエンド電動アシストマウンテンバイクメーカーである ROTWILD（ロットワイルド）社との共同開発により、Honda が二輪車開発で長年培ってきたノウハウと最新の e-MTB 技術を融合した新しいマウンテンバイクです。独自開発のカーボンモノコックフレームとガルアーム式スイングアームを採用し、安定性の高い車体と先進制御による電動アシストユニットを組み合わせることで次世代の e-MTB にふさわしい FUN ライドを提供します。



Honda RN0 electric-assist mountain bike

■ADV125

新たに導入する「ADV125（エーディーブイ 125）」は、欧州 A1 ライセンス※3 で運転可能で実用的なパッケージに X-ADV や ADV350 が持つ個性的な魅力とアドベンチャースピリットを凝縮したコミューターです。排気量 125cc の「eSP+（イーエスピープラス）」エンジンは、俊敏なレスポンスと優れた燃費性能を両立しています。ADV125 には新開発の 5 インチフルカラー TFT ディスプレイと Honda RoadSync によるスマートフォン連携機能といった充実した先進技術パッケージが採用されています。



ADV125

■CBR500R FOUR

4 気筒エンジンモデルの伝統と最新技術を融合した新型ミドルクラスのスポーツモデル「CBR500R FOUR（シービーアール 500 アール フォア）」を欧州で初公開しました。このモデルは Honda 独自のクラッチコントロール自動制御システム「Honda E-Clutch」を採用。スポーティーな走りとシンプルな操作性、そして高い汎用性を兼ね備えた Honda E-Clutch は、新たな価値を付加し、幅広いライダーにこれまでにないライディング体験を提供します。



CBR500R FOUR

■EV OUTLIER Concept

「EV OUTLIER Concept（イーヴィー アウトライヤー コンセプト）」を欧州で初公開しました。このモデルは、既存モデルの延長線上ではなく、2030 年以降の二輪車の新しいあり方を提案するコンセプトモデルです。電動車ならではのレイアウトの自由度の高さを生かし、前後両輪にインホイールモーターを採用することで、ダイナミックでロープロポーションなスタイルを実現しています。



EV OUTLIER Concept

■Onitsuka Tiger Honda Mid Sports Concept

今年 9 月 22～28 日にイタリア・ミラノで開催されたミラノ・ファッション・ウイークで公開したコンセプトモデル「Onitsuka Tiger Honda Mid Sports Concept（オニツカ タイガー ホンダ ミッド スポーツ コンセプト）」を EICMA 2026 に出展します。ミドルクラスのスポーツモデルをベースに Onitsuka Tiger のアイコニックカラーであるタイガーイエローを基調とし、車両の両サイド全面に黒のストライプを大胆に配しています。また、黒を基調としたホイールにはアクセントにタイガーイエローを施し、Honda と Onitsuka Tiger の両ブランドのロゴを配置。カラーリングからディテールに至るまでこだわりを込めた 1 台に仕上げました。



Onitsuka Tiger Honda Mid Sports Concept

※1 Honda 調べ
※2 Honda RoadSync のご利用には専用アプリのインストールが必要です
※3 欧州の免許区分。排気量 125cc 以下、出力 11kW 以下の二輪車が運転可能